



平戸 染谷正行家の板碑

No. 137 武蔵型 断碑 題目板碑 曼荼羅 48.5×30.0×2.3 cm (実測値)

大持国天王 (不動明王)  
 大日天王 鬼子母 ( )  
 南無多寶如来  
 南無妙法蓮華經  
 南無釈迦牟尼佛  
 大日天王 十羅刹 ( )  
 大 ( ) (愛染明王)

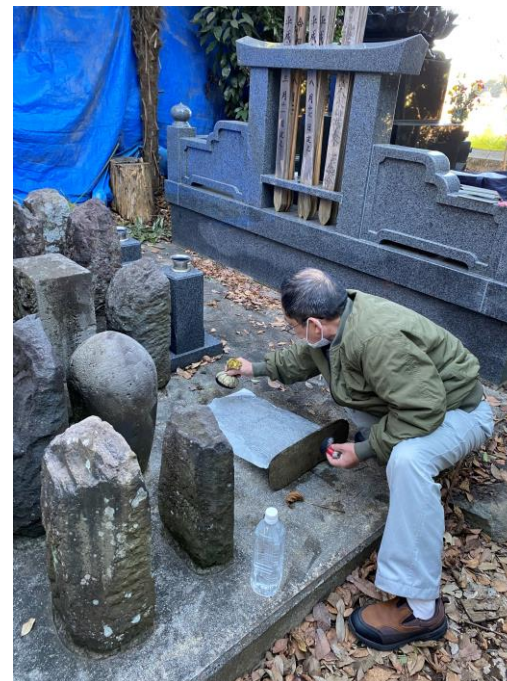


# 八千代市内日蓮宗地域の板碑集成

2022.12.17  
 八千代市郷土歴史研究会  
 12月例会用  
 藤由美

## 板碑調査の風景

2022.12.8  
小池妙光寺にて



2022.12.15  
平戸染井家墓地にて



2022.10.25  
佐山妙福寺にて



# 題目板碑の分類

題目板碑 = 「南無妙法蓮華經」の七字題目などが日蓮宗独特の筆法（髭題目）で線刻された板碑

①「一遍首題」の板碑

= 「南無妙法蓮華經」の七字題目を刻む板碑

②題目二尊（四尊）の板碑

= 「南無妙法蓮華經」に「多宝如来」と「釈迦牟尼仏」（四尊は、さらに「浄行菩薩」と「安立行菩薩」）が加わる

③十界曼荼羅の板碑

= 中央に七字題目と二尊、四隅に四天王、左右に愛染明王と不動明王の種子、題目の下に鬼子母神と十羅刹女の文字を刻む板碑



島田台 間見穴遺跡の板碑  
「南無妙法蓮華經」銘

# ①「一遍首題」の板碑

## ①「南無妙法蓮華經」の七字題目を刻む板碑



「南無妙法蓮華經」銘板碑  
小池地区 文明12年（1480）銘  
八千代市立郷土博物館展示



葛飾城跡出土の題目板碑  
享禄4年（1528）銘  
葛飾区天文と郷土博物館

## ②題目二尊の板碑

「南無妙法蓮華經」に「南無多宝如来」と「南無釈迦牟尼仏」が加わる



右志為一結衆七分全得  
南無多宝如来 也  
(天)南 無 妙 法 蓮 華 經(蓮)  
南無釈迦牟尼仏  
応安二年十一月廿七日白敬

多古町妙光寺の下総型板碑  
応安4年(1371)銘  
2017.6.20



一塔兩尊式の貞和2年銘題目板碑  
(東松山市妙昌寺)

### ③十界曼荼羅の板碑

中央に七字題目と二尊、四隅に四天王、左右に愛染明王と不動明王の種子、題目の下に鬼子母神と十羅刹女の文字を刻む板碑



多古町妙光寺の下総型板碑  
 応永15年(1408)銘 2017.6.20

A7 武蔵式板碑 高五三 幅一六 (題目板碑)

大持国天王 大日天王鬼子母神 大広目天王

南無多寶如来南無文殊師利菩 右志□妙□ (上)  
 北丘尼拏也

南無妙法蓮華經法主大聖人

南無釈迦牟尼佛南無□賢苾□ (八) 季十月十二日

大日天王十羅刹女

大毘沙門天王 大增長天王



A7 武蔵式板碑 (題目板碑)

小池の浅野七男家の武蔵型型板碑  
 年銘不明

大持国天王 大廣目天王 妙法 妙許位

南無多寶如来 南无上行苾 南无无边行苾 七七等志靈法界利益也 道園

南無妙法蓮華經法主大聖人 南无淨行苾 南无安立行苾 南无法王大聖人 南无日通 妙法

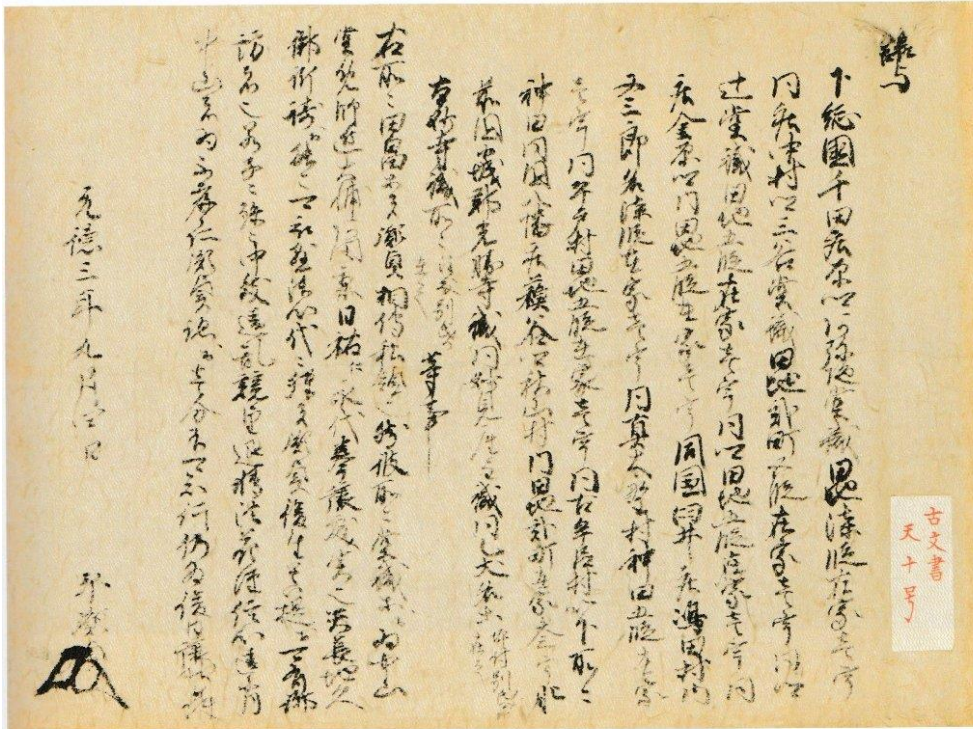
南無釈迦牟尼佛 十羅刹女 日銀 妙林 榮改 妙心 日詔 法宗 日暎 妙性 妙田同氏女 風秀 法日 宗平 妙尊 風久 妙法 十妙 妙祐 妙栄 妙白

大毘沙門天王 大增長天王 大願影之 妙□ 妙□ 妙□

右為一結衆七分全得并四忌

# 題目板碑の分布の背景

千葉胤貞から養子の日祐（中山門流のトップ）へ、元徳3年（1331）その所領である千田庄・臼井庄・八幡庄内の一部の土地などの譲与が行われ、八千代市内では、嶋田村・真木野村・平戸村がその勢力下に入った



千葉胤貞譲状(中山法華経寺文書) 中山法華経寺蔵 元徳3年(1331)

千葉胤貞が中山法華経寺第3代貫首日祐に寺領を譲与したもの。東国の多くの所領とともに、「肥前国小城郡光勝寺職・同妙見座主職」として光勝寺の名がはじめてみえる。

元徳三年九月四日 千葉胤貞譲状（下総中山法華経寺文書）

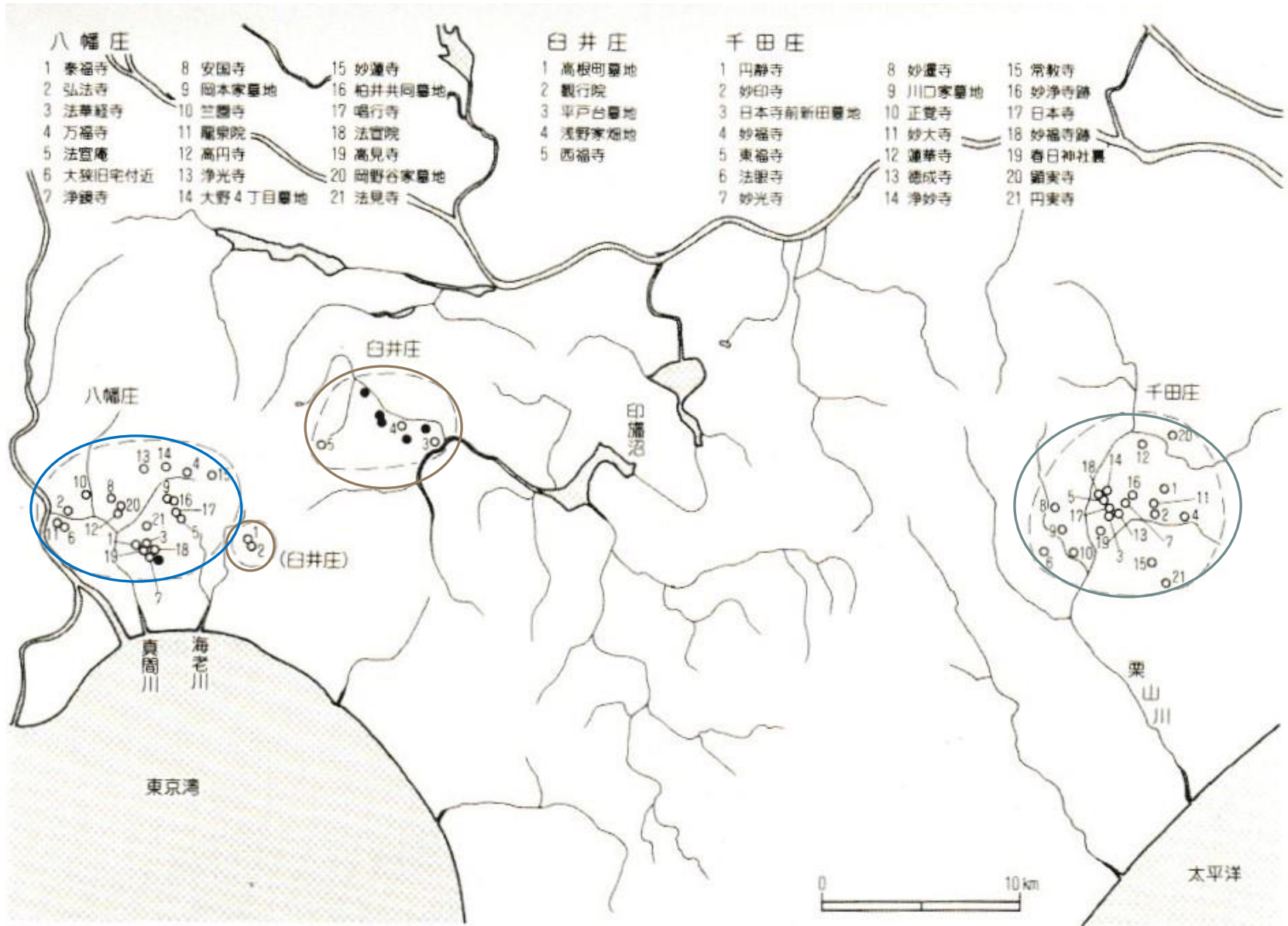
譲與

下総国千田庄原郷阿弥陀堂職田地七段、在家老宇、  
 同庄中村郷三谷堂職田地貳町五段、在家老宇、  
 同郷辻堂職田地五段、在家老宇、同郷田地五段、  
 在家老宇、同庄金原郷内田地五段、在家老宇、  
 同国臼井庄嶋田村内又三郎名七段、在家老宇、  
 同真木野村神田五段、在家老宇、同平戸村田地五段、  
 在家老宇、同古牟呂村以下、處々神田、  
 同国八幡庄會谷郷秋山村内田地貳町、在家老宇、  
 肥前国小城郡光勝寺職、同妙見座主職、  
 同乙犬名坪付別紙在之、本妙寺職、所々注文別紙在之等事  
 右、所々田畠者、胤貞相伝私領也、然彼所々堂職等お、為中山  
 堂免、師匠大輔阿闍梨日祐仁、永代奉讓處実也、天長地久  
 御祈祷お、能々可被懸御心、代々殊者胤貞後生菩提お、可有御  
 訪者也、若子々孫々中、致違乱競望、退伝法華経信心、違背  
 中山者、為不孝仁、胤貞跡お老分不可知行、仍為後日譲状如件、

元徳三年九月四日 平胤貞（花押）

# 千葉県北部の題目板碑の分布

出典：『題目板碑とその周辺』坂田正一 2008



第1図 下総における中山門流下の題目板碑 (●造立趣旨不明題目板碑)



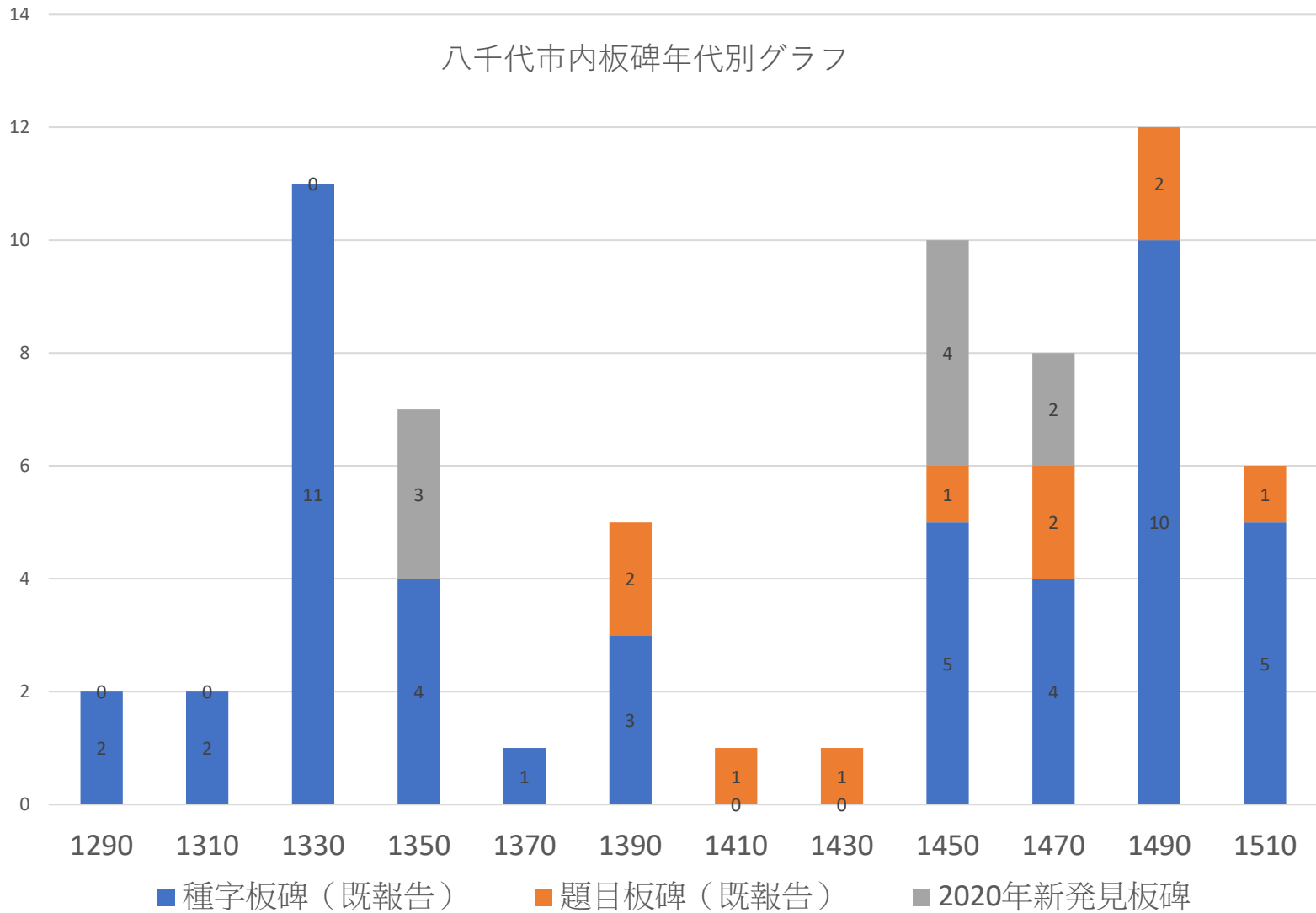


## 八千代市内板碑分布図

●は題目板碑

『八千代の歴史 通史編』から

八千代市内板碑年代別グラフ



紀年銘の年代

享徳の乱1455~1483

# 市内日蓮宗地域の板碑の分類と紀年銘

有刻板碑のみを集計

主尊による分類	基数	紀年銘
阿弥陀如来	6	1293～1346
一遍首題	14	1392～1490
題目二尊	4	1401～1470
十界曼荼羅	9	1405～1514
不明	4	1294～
計	37	